

海外派遣監督の映画祭

文化庁 豪華トークショーとシンポジウム

2017年10月14日(土) ～ 10月20日(金)

安藤紘平

『通りすぎる電車のように』
『フェルメールの囁き』 他



2001年度 フランス
故寺山修司に指示し、独自の表現力で知られる映像作家。ハワイ国際映画祭、モントルー国際映画祭などで受賞。パリ、LA、東京他の美術館に作品収蔵。

浜野佐知

『百合祭』
『第七官界彷徨 尾崎翠を探して』



2001年度 フランス
“性”を女性の視点で描くことをテーマに400本を越える作品を発表。世界各地の女性映画祭やL&G映画祭と交流する。2000年「第4回・女性文化賞」受賞。

竹内孝次

『おじいさんのランプ』
『BUTA』 『翼と影を』 他



2013年度 フランス
アニメーションプロデューサー。カナダ、フランス、韓国、等と合作作品を展開する。2016年よりTAAFフェスティバル・ディレクターを務める。

林 海象

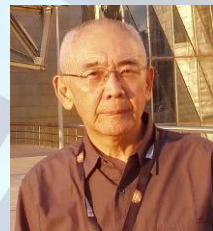
『探偵事務所5 楽園』
『探偵事務所5 失楽園』



1999年度 アメリカ
1986年にモノクロサイレント映画という異色作『夢みるように眠りたい』でデビュー。代表作は永瀬正敏主演の『私立探偵 濱マイク』シリーズなど。

伊藤俊也

『始まりも終わりもない』



1980年度 アメリカ
『女囚701号・さそり』(1972)で監督デビュー。1982年『誘拐報道』でモントリオール審査員賞。2003年紫綬褒章、2012年旭日小綬章受章。

すずきじゅんいち

『二つの祖国で』
『青空へシュート!』



1990年度 アメリカ
『婦人科病棟』で初監督(1981)おおさか映画祭新人監督賞。大ヒット作『マリリンに逢いたい』や批評家大賞『二つの祖国で』など27本劇場用映画を監督。

山本政志

『リムジンドライブ』



1997年度 アメリカ
第一作『闇のカーニバル』(1982)がベルリン&カンヌ国際映画祭に選出。2000年単身ニューヨークに乗り込み、オール現地スタッフで『リムジンドライブ』発表。

原田 徹

『大芸大に進路を取れ』



1993年度 アメリカ
1978年大阪芸大卒。在学中8ミリ映画『午後の幻想曲』がヒロシマ国際アマチュア映画祭入選。1992年テレビ映画『風車の浜吉』(仲代達矢主演)で初監督。

三浦淳子

『孤独の輪郭』
『トマトを植えた日』



2007年度 フランス
劇団転形劇場を経て私のドキュメンタリー映画を制作。『さなぎ〜学校に行きたくない〜』、『空とコムローイ〜タイ、コンティップ村の子供たち』を劇場公開。

鎌仲ひとみ

『ヒバクシャ〜世界の終わりに〜』



1990年度 カナダ
早大卒と同時に映画制作現場へ。テレビ番組やドキュメンタリー映画を多数監督。2011年度全国映連賞・監督賞受賞。多摩美術大学非常勤講師。

船橋 淳

『谷中暮色』



2004年度 アメリカ
NYで自主制作を開始。『Big River』『フタバから遠く離れて』『桜並木の満開の下に』等5作連続でベルリン映画祭へ正式招待。ポルトガルとの合作は今冬公開。

(上映順)

10月14日(土)

13:00 安藤紘平『フェルメールの囁き』他3作品



①1978年 3分 ②1998年 48分
③1994年 39分

この映画作家は、十七世紀オランダの画家フェルメールの絵画と日本の上流家庭の精神的風景とを結びつけて一つの物語を語るといふ天才的な発想の上に立って、素晴らしい幻想的世界を完成させた。一大島渚 映画監督
トークショー：安藤紘平&大童一心(監督)

15:30 浜野佐知『百合祭』



2001年 100分

老いらくの恋はタブーか？老嬢ばかりが住むアパートにダンディーな75歳の光源氏が引っ越してきた！枯れたとばかり思い込んでいた老嬢たちの性が瑞々しく甦る。世界38ヶ国56都市で上映。出演：吉行和子、ミッキー・カーチス、他
トークショー：浜野佐知&山崎邦紀(脚本)

10月15日(日)

13:00 竹内孝次『おじいさんのランプ』他



©T.T/TELECOM/AM2011
2011~2017年 72分

『おじいさんのランプ』新美南吉原作アニメ『BUTA』動物キャラが暴れまくる冒険アニメ『翼と影を』TAAF2017受賞作品グランプリ『クモの巣』TAAF2017受賞作品優秀賞『杏茸を少々』TAAF2017受賞作品豊島区長賞
トークショー：竹内孝次

15:10 林 海象『探偵事務所5/楽園・失楽園』



2005年 139分

「楽園へ行く」と言葉を残し失踪した美花を探す瞳と探偵591(成宮寛貴)。たどり着いた美容整形外科に潜入した瞳に危険が迫る。探偵522(宮迫博之)が救出に向かうが美花と瞳の運命は？5ナンバーで呼ばれる探偵を描くシリーズ
トークショー：林 海象

10月16日(月)

13:00 伊藤俊也『始まりも終わりもない』



2013年 95分

ダンサー田中泯の身体表現が刻みこむ“人間の生と死”。人間は生まれきて死ぬ。しかし、誕生が始まりであり、死が終わりであるか・・・監督伊藤俊也が渾身の力で描く人間存在の根源を見つめた画期的作品。
トークショー：伊藤俊也

15:30 すずきじゅんいち『二つの祖国で』



2012年 100分

太平洋戦争時、日米両国で差別された日系二世たちの歴史を紐解くドキュメンタリー。元兵士達の証言をもとに、米国側の極秘情報も取り上げて描く日米合作作品。日本映画批評家大賞、山路ふみ子文化賞受賞
トークショー：すずきじゅんいち&榊原るみ

10月17日(火)

13:00 山本政志『リムジンドライブ』



2000年 93分

英語力ゼロだが度胸は花マルのスーパーギャル、ニューヨーク上陸。現役ギャルの仲祐賀子、ウルトラベジストTMスティーブンス、そして鬼丸との絶妙のアンサンブルで、観た後に元気が湧くエンターテインメント。
トークショー：山本政志

15:30 原田 徹『大芸大に進路を取れ』



2016年 90分

「芸大」という個性的な環境を舞台に、卒業を間近に控えた学生の、悩み、戸惑いながらもそれぞれの個性や才能を活かし、人生を歩み出そうとする姿を描く青春映画。出演：本上まなみ、浜畑賢吉、芸大学生達
トークショー：原田 徹

10月18日(水)

13:00 三浦淳子 ①『トマトを植えた日』②『孤独の輪郭』



①1992年 50分 ②1997年 53分

①祖父が残した9.5mmフィルムなどによって私と祖父の繋がりを描く日記的ドキュメンタリー。②92歳の認知症の祖母が、放送局で働いているという妄想を抱き、毎朝ラジオ放送する姿を描いたドキュメンタリー。
トークショー：三浦淳子

15:30 鎌仲ひとみ『ヒバクシャ〜世界の終わりに〜』



2003年 116分

確実に世界を覆い尽くそうとしている国境のない核汚染。人々が知らぬ間に被曝し、ゆるやかに殺されていくという現実。人々の日常の姿を記録し、被曝者の声を伝えるために作られた静かで、かつ力強い作品。
トークショー：鎌仲ひとみ

10月19日(木)

13:00 すずきじゅんいち『青空ヘシュート!』



2001年 99分

ダメ少年サッカーチームに入ってきた監督とエリートサッカー少年の葛藤を描き、ダメでもダメなりの素晴らしいさもあると訴える。文化庁優秀映画作品。横浜市後援映画。出演：宍戸 開、榊原るみ、石田裕加里、他
トークショー：すずきじゅんいち&宍戸 開

15:30 浜野佐知『第七官界彷徨-尾崎翠を探して』



1998年 108分

今なお不思議な輝きを放つ作家・尾崎翠。戦前戦後の激動の時代を毅然として生き抜いた人生と、代表作「第七官界彷徨」、そして、翠を探す現代をクロスさせて描く。出演：白石加代子、吉行和子、柳 愛里、他
トークショー：浜野佐知&山崎邦紀(脚本)

10月20日(金)

13:00 船橋 淳『谷中暮色』



2009年 107分

幸田露伴「五重塔」に描かれた下町谷中の国宝その謎の炎上を記録した8mmフィルム・・・幻の映像を探し求める旅がいま始まる。ベルリン、香港、ソウルなど多数の国際映画祭からの正式招待作品。
トークショー：船橋 淳

15:30 シンポジウム「海外で映画を学んで」

文化庁新進芸術家海外研修制度50周年・文化庁芸術家在外研修員の会設立30周年記念
パネラー：伊藤俊也、浜野佐知、山本政志、すずきじゅんいち、三浦淳子、鎌仲ひとみ、船橋 淳
司会：小川幹雄(文化庁芸術家在外研修員の会・理事長)
(※入場無料)

※各トークショー&シンポジウムのゲストは予告なく変更場合があります。

横浜シネマ

ジャック&ベティ

横浜市中区若葉町3-51 TEL: 045-243-9800

http://www.jackandbetty.net

京浜急行黄金町駅5分

市営地下鉄阪東橋駅5分



料金

一般 : 1,500円
大学・専門 : 1,200円
シニア : 1,100円
高校生以下 : 1,000円
(劇場会員割引有り)